平成29年度 第1回 藤枝市男女共同参画会議 要旨

日 時: 平成29年5月26日(金) 13:30~15:00

会 場: 藤枝市役所 3階 301会議室 出席者: 委員11名(定員15名 4名欠席) 事務局4名

	関連の施策・事業	各委員からの質問	当局からの回答・対応			
(1)	(1) 平成29年度推進施策について(質疑)					
	第2次行動計画の目標数値	「子育てを両親が共同で行う割合」の目標数値80%に対し、28年度市民意譲調査の結果が16、3%とギャップが大きい。原因や対策は何かあるのか?	30代から50代の働き世代の回答が反映された結果であり、就労状況が男女ともに7割近くあり、長時間労働から男性の家事・育児の参画が進んでいないことが読み取れる結果と分析される。質問の仕方も若干影響した。要因の一つとして前回までは「主に誰がしつけち」だったが、今回は「予育では主に誰が中心」に変更したため、本来両親でやっていたかもしれないが「主に」と聞かれれば母親と回答した可能性が高い。			
	当初予算の概要	予算がかなり増えているが、詳しく説明して ほしい。	ささえ愛の輪創造事業が企画政策課から予算組み替え、ふじえだであい創造事業は、事業の一部である200万円が昨年度児童課に予算付けされており、今年度男女共同参画課に組み替えられた。内容、事業規模は昨年度と変わっていない。			
	県内の他市の状況	県内の他市の状況で、藤枝市だけが男女共同 参画課を持っているが、持っていない他の市 に比べて何がいいのか検証できているか?	課は以前はどこも作っていたが、規模や組織的に人も配置できなくなり、係になってしまったというのが正直なところである。藤枝市長は男女共同参画を市の組織の姿勢として今まで通りもっと広めていく、という意味もある。あえて組織の名前を残し、さらに男女共同参画を進めていく、という市の姿勢を表している。			
(1)	1) 平成29年度推進施策について(委員の意見)					
	当初予算の概要	事業がうまくいったから増やしたというならわかるが、別にそんな増やさなくてもと思うところがいく つかある。少ない人数に対して予算をかけすぎが多い。 費用対効果を考え、似たものは削り、新しいも のをやったらどうか?				
	第2次行動計画の目標数値	目標値は「達成できなかった」ということで終了となる。次の行動計画のことは、進捗管理でどのように計画が進んでいたのかについても、この会議でもっと積極的に関わった方がいいということを、事務局ともしている。今後の参画会議では進捗管理を聞くだけでなく、提案型に持っていけばいいと思う。 父親と子どもの料理教室についても、父親の意識を高めるためにやってみたが、この「子育てを両親が 共同で行う割合」の調査結果にダイレクトに響くまでには至らなかった。				
	n .	この目標値に対して実際効果的な事業をしないで数値が上がらす、結局反省しない会議だといつも言い続けてきた。前の会議でも議事録には書いてあるが、反映されていない。その成果がないまま、いつも次の計画ばかり出てくるので、だめなものは切り、新しいものに挑戦したらよい。今度は10年間ではなく4年間になるのだから、その4年間でできることをやっていったほうがいい。				
	n	すか?というアンケートの中の「同感する」 ある」「違和感がある」のなかの、否定的な る固定的な役割分担意誠にとらわれない人の割 は「誰が主に」という聞き方がどうなのか。	動き、女は家で家庭を守るという考えについてどう思いま「やや同感する」「どちらとも言えない」「やや違和感が「違和感がある」の数字が性別によ 調料感がある」「やや違和感がある」の数字が性別によ 調合に表れていることや、子育でを両親が共同で行う割合 各発だから数字には出て来ない部分があるとは思うが、主 もう少し具体的に活動していることに対する目標、活動に う。			
	II	きなのか、という問題もある。今回は多分、 みたいな話を目標にした部分もあると思う。	でものすごく操作されてしまうもの。意識を目標値にすべ 1 0年後だからこのくらいになっていたらいいという、夢 今度は4年後なので、事業がどれだけの意味を持つものに というところをはっきりさせて、目標を明確にする、目標 大事かなと思う。			
	n	やってアンケートを取り、目標値と実際の数値なされていないことが問題。目標値の設定が質 実態はどうなんだというところを突き詰める、 を見直す、アンケートの言い方がおかしければ	ると思う。それは仕方のないところ。大事なのはそれを 直とかなりギャップがある。そのギャップの分析・解析が 悪かったのか、アンケートの聞き方の問題があったのか、 そのところから目標値の設定がおかしいのであれば設定 ざ言葉を変えてみるといった具体的な方法に持っていけ なのでできるだけ数値目標は入れたほうがいいと思う。数 にほうがよい。			

関連の施策・事業	各委員からの質問	当局からの回答・対応		
(2) 平成29年度事業計画について (質疑)				
ふじえだであい創造事業	対象人数が少ない割に、予算がついていることについて、例えば婚活事業などは、どのくらいの効果があったのか?そこを検証してから、次の事業に持っていったらいい。婚活については商工会議所の女性部会や青年会議所などいろいろなところでもやっているので、同じお金を使うのであれば分散しないで一緒にやったらどうだろうか?と以前の会議で発言したが、そこは検証したのか?	民間との共催という形はとっていないのが現状。農協 や商工会議所で婚活事業をやっていることはもちろん 承知している。行政間で静岡を中心に圏域内の焼津、 藤枝、静岡あたりで一緒にやってみようかという動き は出ている。		
n	市の事業では業者への委託事業になるので、 商工会議所でやっている事業に市が参加した らどうなのかと思う。農協や商工会議所の参 加者の人数や効果について市は把握している のか?	情報収集は、今後連携を図る中でしていかなければならないと感じている。		
啓発情報誌事業	今年回覧することになった情報誌Runらんらんは、予算的にはかなり減ったのか?	組回覧になったタイミングが、予算要求後である。当 初予算は全戸配布で計上しているので、予算規模は変 わっていない。ただし、実際の支出段階では大きく金 額が減ってくる。		

関連の施策・事業	各委員からの質問	当局からの回答・対応			
(2) 平成29年度事業計画について(質	夏 疑)				
啓発情報誌事業	以前も言ったが、組回覧より広報ふじえだに 1 ページ載せたほうがいいのでは。	広報ふじえだには、毎年男女共同参画週間の際に、見開き2ページで掲載している。広報ふじえだを啓発の 媒体としてもちろん使ってはいる。広報はいろんな記事がある中でスペースも限られてくるため、載せだい情報をすべて載せられない。もう一つは公募した市民の編集委員が市民目線で記事を書くことをメインにしている。実際に取材したものを反映させるためには、媒体として一つ残しておきたい。			
推進センター「ばりて」事業	ばりて市民大学の講師が毎年同じで、内容が 男女共同参画に全く関係ないといつも思う。 第2回のはりて講座では、県議の県政報告 会。これは、県議が自分でやればよいと思 う。これも市のお金を出してやることか?	男女共同参画の啓発というよりも女性の人材育成を重 視している。			
11	毎年やっていて、毎年同じ講師で、それに対する効果についてどう思っているか?こういう効果があったからまたこの人にやってもらおうとか考えないのか?	講師の選定については、いろんな方にいろんな話をしていただくということは必要だと思う。会長ともその辺は相談させていただき、今後講師については検討していきたい。			
п	ばりてはいつもアンケートなどは取っていないのか?アンケートの結果をもっとフィードバックするとともに、アンケート結果で良かった点や今度はなにを聞きたいか、誰の話を聞きたいかなどを、そのアンケート結果を見て翌年どのように決めたかというところを見える化するということをしたらどうか?	必ず、すべてアンケートの結果を取っている。講師の 選定についても。その結果である。			
11	運営協議会で事業計画(案)を作っているのか?手続きについて、事業を報告を頂く機会があれば、今度の行動計画を立てていくときにお願いしたい。	必ず、すべての事業でアンケートを取っているし、講師の選定についても同じ。アンケートの結果に基づき、それを反映し、運営協議会で話し合いをして決めている。 機会があれば報告させていただく。			
(2) 平成29年度事業計画について(3	長員の意見)				
啓発情報誌事業	Runらんらんを全戸配布から組回覧に変えることを、この会議でも話し合いをされずに決まってしまったことは残念だと思う。 市民からすると、積極的に男女共同参画に興味を持っていない限り、Runらんらんでしか、知ることがない可能性が十分あり得る。全ての事業の中でRunらんらんは大事ではないかと思う。 広報は必ず配布されるため、目にしてもらえる。 残念ながら組回覧では、おそらく表紙しか見ないので、情報誌を作る意味がなくなってしまう。 やがて廃刊になることが危惧される。 もう一度全戸配布に戻すか、確実に広報に掲載するか、ということを再度検討いただけないか?				
11	せっかく情報誌を作成しても、回覧では見る方が少ない。早く回すことに気を取られ、結局表紙だけ見 て終わってしまう。啓発の一環として、皆さんの意識を向上するのであれば、やはり個別配布がよい。				
11	実は自治会役員でその話をして、全戸配布は末端の組長さんの負担にはなるが、「安否確認」の目的もあるし、「あいさつ運動」などのコミュニケーションの面でいろいろブラスαの部分もあるため、配布物が三つ四つ増えても広報と一緒に配るから負担は一緒だ、ということで、先月の自治会長の定例会では従来通りやるということになった。一部をやめても、議会だよりなど配布物はいろいろあるので、そんなにメリットはない。だったら、うまくタイミングをあわせてくれれば、同時配布なのでそんなに負担はない。必要としたことは是非遠慮なしに言ってほしい。				
11		を一度は認めてもらっても、担当者が変わったりしたとこりとルールの中に男女共同参画の情報誌を配布するものの市民の生活に関わるものだと私は思う。			
11	2年間編集に携わったが、Runらんらんの一番いいところは、市民目線であること。役所が作るのではなく、市民が市民目線で「男女共同参画社会」を構築するためにどうしたらよいか、ということを考え、テーマを決めてアンケートを取ったり、実際にいろいろな企業を回ったりすることが、プラスになっていると思う。組回覧になってしまうと、表紙だけ見て、読まずに素通りしてしまう。自分が編集委員になり、いろんな方に情報誌を読んだか聞いてみたところ、結構みなさんが目を通してくれていた。市民目線の広報のあるべき姿の1つのモデルケースでもあるということで、Runらんらんを有効活用してもらえればいいんじゃないかと思う。編集委員が苦労したところが紙面にも現れているので、私としては組回覧ではなく、世帯配布し、浸透していくべきであると思う。				
推進センター「ぱりて」事業	どのくらい効果があったのか教えてといっても ほうがいい。次回の計画は、そういうこともも	ちなかなか出て来ない。目に見える効果がないなら変えた 含め、目標値から始まり、考えていったほうがいい。			
関連の施策・事業	各委員からの質問	当局からの回答・対応			
(3) 市役所男女共同参画行動指針につい	1て (意見)				
	各課の行動指針を見る限り、当たり前の内容である。参画会議でこの一覧表を出す必要がなく、これで ベージを使うのはもったいない。				
	前回これが出てきた時、びっくりするぐらい当たり前のことが4分の1くらいの課でできていなかった。それに愕然とした。今回はそれを気にかけ、修正した。このようなスモールステップはとても大事で、一歩一歩進んでいくこと。ある程度できてくればいい。				
【参考】					
藤枝市男女共同参画会議について	第17条 男女共同参画を円滑に推進するため、藤枝 第18条 行動計画に関する事項その他男女共同参画	市男女共同参画会議を置く。 社会づくりの推進に関する必要な事項について協議する。			
(藤枝市男女共同参画推進条例より抜粋)	第10米 11到前回に関する争項(い他ガス大田学四社会フトリの推進に関する必要な事項について、商長に意見を述べることができる。 2 会議は、男女共同参画の推進に関する事項について、市長に意見を述べることができる。				
【 問合せ 】 藤枝市 市民文化部 男女共同参画課 (直通 054-643-3198)					